

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 , 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームハッピーヴィラしんまち	評価実施年月日	平成21年10月
評価実施構成員氏名	土井、鈴木、武田、林、切山、嶋村、境田、石田		
記録者氏名	土井	記録年月日	平成21年10月

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>		
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>		<p>行事等地域活動に参加することが出来なかったため今後参加をし地域情報を得て交流を図れるように努めたい</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>		<p>運営推進会議を通じて暮らしに役立つこととは何か？を伺い教えていただきながら当事業所で行えることについて話し合い取り組んでゆきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>運営推進会議で話しあった内容を基に今後職員間で勉強をし知識を身につけてゆきたい</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>常に苦情や意見を受け入れる体制状況をつくり会話から伺ったりと、その時の状況と兼ね合いながら訊き内容を職員間で話し合いながら業務に活かしている。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月の請求書投函時や来所時、各入居者様の様子を報告している。又、新しい職員が入ってきた時はハッピー新聞にてお知らせをしている。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にご意見ボックスを置き、意見を表せれるよう又、口答で各職員、ご家族様に伺い意見を持ちよりスタッフ会議の中で話し合い運営に活かしている。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>具体的に話す場は設けてはいないが、業務の中で会話から、なにげなく意見や提案が発せられる場ができています。</p>		<p>各職員が思っていることなどを話せる状況を作っているが、何処まで話せているか？とゆうこともあり、管理者と職員で意見を交せられる場を作ってゆくことを考慮してゆく。</p>
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>急な状況変化に対応出来るよう今年5月下旬より、スムーズに職員確保ができるようになった。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>入居者様、ご家族様に支障のないよう管理者や職員の移動は余程の事情がない限りめったにない。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	外部研修や法人内部での勉強ができる環境がある	業務時間内での研修を行う時間がなかなか取れないこともあり、今後状況と時間の調整を行い十分な研修を行えるようにしたい
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	地域の同業者となかなか交流をもつ場がとれておらず。	近日中、挨拶をしに行き交流が図れるようにしたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	思っている事や意見など話せる場ができています	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	数々の館内行事や催しなど行える状況で各職員がそれぞれの実力を発揮出来る状況があたえられている	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	会話をういて思っていることや意見伺う場を作り受け入れスタッフ会議などで話し合いご本人様にとって良い状況がもたらされるよう配慮している。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	来所時や電話などで意見等伺い、意見を参考にしながら各入居者様のケアに活かしたり、又、業務に活かしている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	出来る限りご家族様、ご本人様の要望に添えられるサービス対応が出来るよう職員間で話し合いながら対応に努めている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人様の生活様式を把握した上で職員間で必要な支援について話し合い、徐々に環境に馴染めるよう、配慮しその際、ご家族様からも情報を得てその方の生活状況に合わせたサービスを考慮している。		担当職員が日記のように自分が見たこと、他職員からの情報を記録し(1週間ぐらいの期間)で様子を見て、より深くその方にあった生活様式を考慮してゆきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	食事の盛り付け又、料理の味付けや作り方、縫い物など昔とった杵柄で私達職員が教えてもらったりしながら一緒におこなっている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様に電話や来所時、ご本人様の様子を伝え、ご本人様の生活様式など伺いながらどのように対応していったらよいか？を考慮し共に支えていく関係が出来ている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様とご本人様との間にどのくらい接していったらよいか？など考慮し、ご家族様からの事情を伺える所は伺いながら対応している。又、ご家族様とご本人様のお出掛け時など要望に応じ(お出掛けの際の洋服選び)など配慮し、よい関係が築いてゆけるよう支援している		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様の親友や町内会のお食事参加など馴染みの関係が途切れないよう配慮している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲の良い利用者様同士や話題で仲、むつまじくなれるよう場面に配慮しながら対応している		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	ハガキやおたよりなどで未永く付き合っけてゆけるようにしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活様式などご本人様やご家族様に伺い出来る限りの意向にそうよう配慮している		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前、ご家族様に生活暦や様式など伺い又、ご本人様との会話時に伺いながら現状の生活にいかせられる様、努めている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	バイタル測定から心身状態を把握し又、会話などからどのように思っているか？など伺いご本人様にとって有意義で穏やかに過ごせるよう努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人様の生活様式を把握した上で各職員からの意見をもとに、アセスメントをし、ご家族様に見ていただき意向など取り入れながら計画を作成している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	支援の中で必要性のあるニーズが出てきた時や支援の必要性のないニーズが出てきた時など職員間で話し合い、ご家族様にも話し(承諾)をいただいた上で計画の見直しを行っている。又24時間アセスメントシートをおこない変化を見ながら対応策を考慮したり状況を把握している		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気づきを元にスタッフ会議や申し送り、日勤帯の中で話し合いながらケア実践と介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者様に楽しんでいただける催しからご家族様や地域の方にも回覧板などで知らせ交流を図れるよう取り組んでいる		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議を通じて民生委員、消防の方などを招いての講習会をおこなったり、又、ボランティアさんによるギター弾き語り演奏やカラオケ歌謡など披露していただきながら入居者様、地域の皆様にとって良い支援を考慮している		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在、他のサービスについての利用はないせいか、他の事業者等、接しておらず。		地域のサービス事業者やケアマネとあまり接することがなく、今後地域包括支援センターなどと、話し連携をもてる場を考慮してゆきたい。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	権利擁護など具体的に出来ておらず。又、今の所必要性のある方もいない為、内容を把握出来ておらず。		今後権利擁護制度や成年後見人制度について勉強してゆきたい。又、地域包括支援センターとも深く連携をとってゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	1ヶ月に1度在宅診療と毎週の訪看と連携し適切にご指示の元、入居者様の対応をし又、ご家族様からの質問、意見等、担当医や看護師に伝え適切な助言をいただいている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	担当医に診ていただき適切な助言の元、対応している。又、ご家族様と相談の上、担当医に話し、治療を受けている。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪看と常に連携を図り、ご指示をしていただきながら入居者様への対応をしている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院、看護ステーション、相談員と常に情報交換をし経過から退院後、どのように対応したらよいか？又、どのような状況(環境)で対応したらよいか？を常に話し合いながら連携を図っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人様の経過状況からどのように対応したらよいか？ご家族様、担当医、看護師さんと常に話し合いながら状況、環境、対応について考慮している		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	担当医や看護師、リハビリ、と入居者様の生活環境について話し合い、どこまでが対応できるか？出来ないか？見極めた上で対応策を考慮している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご本人様の現在の状況からご家族、担当医、等と常に話し合い、どのような生活環境が相応しいか？話し合い対応に努めている</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人の尊重を意識しながら対応に心掛けているが時に馴れ馴れしい親しみやすさが出てしまっている所もある</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご本人様の状況や様子を伺い、会話をもちながら要望を出しやすいよう働きかけ、内容からご理解いただけるよう説明をしたり、ご自分で意思決定が出来るやすいよう配慮している。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご本人様の要望を元に考慮した上で出来る限り職員、時間を作り要望が叶えられるようにしている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>馴染みのある理容、美容院へ行けるようにしている。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者様と一緒に食事の準備をしながら教えていただいたり、各個人の残存能力を發揮し、いかせられるよう又、充実をした生活を送っていただけるよう配慮しながら一緒に生活感をあじわせるようにしている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人様の身体状況を把握した上でご家族、担当医と話し合った内容からご本人様に説明をして要望を伺いながらお茶の飲用量やお菓子の摂取量の調整を図っている。又、煙草は決まった場所で喫煙していただき入居者様の要望を尊重した配慮をしている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレ誘導時に会話をもち一緒に行かれるようさりげなく促すも、行かない時はパット交換の必要性を話し自尊心を傷つけないよう配慮している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴促し時、ご本人様の様子や気分を伺った上で無理に勧めず促している。又、各入居者様の様式(好みの温度や浸かり時間など)把握した上で会話をもちいて楽しい気分が入浴が出来るよう配慮している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	各入居者様の生活環境を把握し(廊下歩行運動の好きな方用に休憩出来るベンチや本棚を置き)対応。他、一緒にTVを観たり話をし、安心して穏やかな気分でも過ごしていただけるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	各入居者様の出来ることや趣味、得意なことを把握した上で様子を伺いながら取り組んでいる。又、各入居者様が生活をしてきた上で自然にご自分で出来ることや(カーテンの開閉、新聞を取りに行ったり、カレンダーめぐり)など自ら行われ又、リハビリを兼ねた楽しみごとが出来ている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様とご本人様で所持金について話し合った上でご本人様が納得される金額を所持されている。又、所持をされている中で置き忘れや紛失時のことも考慮した上での金額、各自の財布を把握している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>61 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>一緒に花壇にて野菜や花をつんだり又、近所のスーパーへ一緒に買い物へ行ったりし、ご本人様の様子を伺いながら促している。</p>		
<p>62 普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>各入居者様の行きたい場所等、伺い、出来る限り、希望が叶えられるよう個別にドライブに出掛けたり又、レクリエーションなど行き楽しんでいただけるよう配慮している。</p>		
<p>63 電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>ご本人様が電話をしたいと言われた時など電話をかけた話して頂いている。</p>		
<p>64 家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>催しがある時などご家族様に知らせ一緒に過ごせるよう配慮している。又、ご本人様の友人等にも催しものを知らせ居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
<p>65 身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束になりえることなどについて話したり資料を活かしながら理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
<p>66 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束について理解をし安全性を考慮した上で鍵をかけない様に配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各入居者様の様子を把握し階段昇降時の見守りや身体の様子など、さりげなく見守り、様子を把握し所在確認と安全確認をしている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	各入居者様の好みや日常生活において行ってきた慣わしなど把握した上で安全対策を考慮し、その上でご家族様、ご本人様と相談をし預かり(お香を焚いたり、仏壇にお線香を焚いたりする上でのマッチ)など預かり、時間を決めて職員確認の上で一緒に取り扱っている。		各入居者様が自分のおこないたい時、すぐに望みを叶えられるよう、又、一度決めた時間におこなうのでよいとせず、常に入居者様のしたい時間を意識しながら取り組んでゆきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	各入居者様の危険性が起こりそうなことや日常ヒヤリハットなどを行い危険対策を考慮し安全対策に努め事故防止に取り組んでいる。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変時にそなえ毎年、救命講習を行ったり、避難訓練をおこなったりしている。又、マニュアルを常時見れる所に配置している。		各入居者様の疾患を把握した上での急変時の対応処置について話し合い素早く対応が出来るように努めたい
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練を行い各入居者様の避難誘導について各職員間、熟知をしている。		火災が起きた上での訓練を想定し地域の方々も交えて訓練が出来るよう地域の方々に協力を得たい
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	具体的に起こりえることについては考慮しておらず。		今後起こりえる内容について考慮した上でご家族様にも話し取り組んでゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	常に各入居者様の変化や様子について話し合い気づき時、ボードに記入し伝達を行い素早い対応に努めている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	おんど版に薬の効能について記入し、また各職員、各入居者様の服薬ファイル表を見ながら効能、副作用、他の薬との混合服薬について把握し素早く変化時の対応に努めている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	各入居者様の排便兆候について把握し看護師や医師と相談の上、調整したり身体を動かすなど行っている		身体を動かすことがなかなか出来ておらず。薬に頼っている面もありラジオ体操や運動を行い便秘改善に努めたい
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後口腔ケアの促しを行いご自分で出来る所まで行っていただきながら口腔ケアの必要性について認識していただけるようになっている。又、月1回居宅療養(歯科)で診ていただき健康管理に努めている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	各入居者様に合わせ食べる摂取量や水分摂取量を把握し看護師や医師と相談をしながら栄養バランスが保てるよう配慮している。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者様へは常に手洗い、うがいを促し予防対策に努めている。又、館内、手摺や取っ手等、除菌をし、感染症予防対策に努めている。		出来る範囲での予防対策は行えているが、その他、具体的な対策は出来ておらず。今後感染症について具体的に勉強し予防対策に取り組んでゆきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>79 食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食器類などは乾燥機にかけ又、フキンなどは漂白をしたりと職員間で認識しながら出来る時間帯で取り組んでいる。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>内玄関に1ヶ月ごとに行事予定を示し外部者やご家族様に呼びかけ気軽に立ち寄れる場所作りをしている。</p>		<p>地域に回覧板等で催しについて呼びかけるも、なかなか交流を図ることが出来ず。今後もどのようにしたら地域と交流を図れるか考慮し取り組んでゆきたい。</p>
<p>81 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関や廊下には入居者様の日々の暮らしぶりの写真を貼り又、ベンチや本棚を置き居心地よく休めるよう、生活感が表れるよう配慮している。</p>		
<p>82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>内玄関と廊下にはいつでも休めるようベンチを置き他者同士で会話をしたり一人で休める空間作りをしている。</p>		<p>現在の空間作りに満足せず、常に生活空間作りを意識してゆきたい</p>
<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自己で使用されていた家具やご本人様の写真や絵など飾り居心地良く過ごせる様、生活環境作りをしている</p>		
<p>84 換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>常に入居者様に温度調整(空気の入替えをしてもよいか?)伺い承諾された上で清潔衛生空間作りをしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない 利用者様の思いを伺うため会話を用いて、さりげなく何も話される時と話されない時がある為、生活様式から思いを掴み、ご要望にそうようしている
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 出来る限り入居者様との触れ合う時間など常に会議にて話し合い作り、一緒に過ごすよう努めている
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない 職員各入居者様の一人で過ごす生活ペースを把握し様子を伺いながらレクのお誘いや声かけをおこなっている
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない 各入居者様のご要望にそった支援が出来ているかどうか？であるが入居者様の笑顔が常にみられていると思う
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない 出来る限り行きたい所へ行けるよう各職員、時間を作り一緒に出掛けている。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない 医療面では常に担当医や看護師と相談をしながら対応し安全面については常に会議や申し送りにて話し合い、各入居者様が過ごしやすいよう努めている。
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない 各入居者様の様子を常に伺いながらご自分で出来そうなことは無理のないようおこなっていただき、又、出来る限り要望が叶えられるよう支援している
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない 来所時や電話でご家族様の意見など伺い、ご家族様、ご本人様の要望にそった支援が出来るよう努めている。ほぼ、全家族様との信頼関係が図れている。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない 地域の方々と交流を図りたく、催しなどのお知らせを回覧板にておこなっているも親睦、深められておらず。他入居者様のご友人は2ヶ月に1回のペースで来所されている

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない	会議を通じて町内会の方や民生委員の方々と2ヶ月に1回意見を交す場が出来、当グループホームについて町内会の方々に話して下さったりしている。
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	常に各職員の意見を訊ける体制が出来ており、又、職員に伺ったりしながら思うことや意見など取り入れ、働きやすい環境を作っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	満足をされているかどうか？されているのではないかと思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	常時、ご意見を伺いご要望にそなえた支援体制ではあるが果たして何処まで満足をされているかと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

出来る限り各入居者様の生活様式を考慮し要望が叶えられるよう、個別ケアを重視した取り組みをおこなっている。又、常に地域の方々にとって何か出来ることや一緒にふれあい楽しめる場(催しなど)のお知らせをし、地域に貢献をしてゆけるグループホームを目指しております。